

2019年度 活動報告

2018年に新施設がオープンし、サポートセンターピュアの持つ全てのサービス機能を一箇所に集約することができてから2年が経過しました。発達障害者の幼児期・学齢期・成人期のライフステージを繋ぎ、特性に合わせた一貫した支援体制を築くことを目的としたこの度の施設整備にあたり、計画当初の予測を上回る大勢の方にご利用いただけた結果となりました。とりわけ成人期部門の生活介護ピュアファクトリーのニーズは高く、支援が困難とされている強度行動障害者を積極的に受け入れていることから、年々利用を希望される方が増えてきています。問題行動の背景を探るための丁寧なアセスメントや、一人一人の特性に合わせたオーダーメイドの支援の提供によって、行動障害を有するほとんどの方は、軽減や改善に向かうことができました。また、重度の障害のある方でも、構造化のアイデアを用いることで、自分で決めた働く目的と目標を持ちながら、作業に従事することができています。その取り組みと成果が認められ、2019年度より厚生労働省が行う強度行動障害者支援者養成研修検討委員として招かれることになりました。その結果、全国より高い評価をいただき、当法人に期待を寄せられています。

就労移行支援・就労継続支援B型アドバンスにおいては、企業実習を中心としたプログラムの中で、コミュニケーションスキルやライフスキル、自己理解ワークなど学んだスキルを社会に般化することを目指して取り組みました。東大阪市内の数々の中小企業との連携によって、作業の請負いや実習先としてご協力いただき、ご利用者の雇用先へと繋がっています。またアドバンスでは軽度もしくは知的障害を伴わない発達障害者が多く在籍されており、中には精神障害を合併されている方が少なくありません。医療やサービス調整のためのケースワークなど、幅広い知識と難易度の高い支援技術が求められることから、各関係機関との連携は不可欠でした。ご本人を取り巻く全ての環境を支援の対象とする当法人の考え方を踏まえ、今後も積極的に他機関との連携を図り、ご利用者の安定した暮らしへと導きたいと思っています。

児童部門においては、お子さん一人一人の強みを伸ばし、弱みにはどのような工夫があれば学校や家庭生活をスムーズに過ごすことができるのかを把握するために、スタッフのアセスメント研修に力を入れ、療育に取り入れました。アセスメントによって、表面には見えないお子さんの困り感を探ることができます。その困り感に対してオーダーメイドの支援ツールを提供し、使っていただくことで、「自分でできた!やった!」といった自己肯定感が育ち、自立が促されていきます。これは成人期の二次障害を予防し、社会生活を豊かに過ごすことにつながります。

また、児童部門の特徴は、マンツーマン療育・小グループ療育・グループ療育へと移行していく仕組みです。この「ホップ・ステップ・ジャンプ」の仕組みは、個別から集団へ、まさに将来の自立と社会参加を目指した療育のあり方です。そしてもう一つ児童部門の重要な役割は、保護者支援です。保護者の多くは、我が子との関わりがうまくいかないことや、学校や地域との関わり、また将来への不安など、日々たくさんの悩みを抱えておられます。その悩みを丁寧にお聞きし受け止めることが、親御さんを支援する上でとても重要と考えています。子育ての工夫や肯定的な関わり方を伝え、また学校の先生との調整を図るなど、保護者の方々に伴走し続ける必要性を感じています。今後も継続して取り組んでいきたいと思っています。

2018年度よりスタートした新規事業の短期入所ピュアプラネットに関しては、開始当初から、利用ニーズが高く、8部屋がほぼ満室になる日が多い結果となりました。ご利用者の将来のグループホームでの生活を見据えたライフスキルの習得や親なき後の自立した生活に備える訓練の場として、これからも多くの方にご利用いただきたいと思います。

次に2014年度より事業委託を受け実施している東大阪市発達障害相談支援センターの2019年度実績は、延べ相談件数1,780名でした。主な相談形態は来所相談1,164件、電話相談302件、メール277件となっています。また主な相談内容は支援方法(関わり方)1,152件と圧倒的に多く、次に関係調整313件、障害理解143件となっています。年々相談件数は右肩上がりです。現在新規相談者は2ヶ月待ちの状態です。すぐさま相談者のニーズに応えていくためにもこの喫緊の課題は東大阪市内と話し合いをしていきたいと思っています。

最後に、今年に入り世界を震撼させている新型コロナウイルス感染症に対する当法人の感染予防対策についてです。ピュアでは、ご利用者と職員の健康と命を守ることを最優先にし、緊急事態宣言中は、在宅支援に切り替えるなどの措置を講じました。この度の新型コロナウイルス感染症対策は、中長期にわたる取り組みが必要と考えております。ご利用者ごとご家族全ての安全を守ることはもちろんのこと、サポートセンターピュアで働く職員全てが安心して働くことができるよう、法人一丸となって対策を講じてまいります。

2020年度はより皆様のお役に立つことができるよう、地域にとってなくてはならない法人であり続けるために、スタッフ一同、全力を尽くしていきたいと思っています。どうか今後ともご指導、ご鞭撻の程、よろしくお願い申し上げます。

理事長 檜尾めぐみ

